

第2学年*組 英語科学習指導案

T1 井坂 友香, T2 松浦 光枝
T3 小河原 香織, ALT Jan Plantinos

英語科における少人数学習指導と評価のあり方について。

1 単元 Multi Plus 1 わたしの夢

2 指導目標

- (1) I want to ~を用いたコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 自分の夢について書いたり, 書いたことを発表したりすることができる。
(表現の能力)
- (3) want to ~を使った文章を読んだり, 聞いたりして内容を正しく理解することができる。
(理解の能力)
- (4) want to ~の使われる状況や文の構造を理解できる。
(言語や文化についての知識・理解)

3 単元について

本単元は, Unit 3 で学習した不定詞の名詞的用法 (want to) の復習を兼ねている。ここでは, want to を使った表現の中でも特に応用として「将来なりたいもの」をテーマとしている。

本年度はすべての英語の授業において, 複数の指導者で指導する体制となっており, 特に2年生ではALTを含め, 4名の指導者で行う授業が設定されている。そこで, 個々へのより細かな指導を行うように, 心がけている。本単元では4名での指導の利点が最大限生かせるよう, クラスを4つに分け少人数で指導することとした。また4グループを4技能(聞く・話す・書く・読む)それぞれの活動に分けたいと考えた。少人数での一人一人へのきめ細やかな指導と適切な評価により不定詞の名詞的用法の定着を図りたい。

4 生徒指導の機能を生かす手だて

- (1) ペアやグループで活動する場を保証したり, 自分や友達の良さを認め合うための自己評価や相互評価を取り入れたりすることで, 学習活動の中で自己存在感が持てるようにする。
- (2) ワークシートのヒントをもとに, 自分が誰のことを紹介するのか自己選択の場を設定する。
- (3) ペアワークやグループワークを通して, 自分の意見や考えを発表し合える環境を整えていくことで, 好ましい人間関係をつくり, 共感的理解を深める。

5 指導計画 (3時間取り扱い)

| | | |
|--------------------|--|-------|
| Multi Plus 1 わたしの夢 | | 3時間 |
| 第1時 | Multi Plus 1 わたしの夢 | |
| 第2時~第3時 | I want to ~を使ってみよう。..... | 本時 |
| | ① ②Show and tell (writing / reading) | (第3時) |
| | ③song (listening) ④mini Interactive Forum (speaking) | |

6 本時の指導

(1) 目標

「I want to ~」を用いた文とその応答の際の文構造・意味・用法を理解し, それを用いて活動することができる。

評価規準

| | |
|-------|--|
| 表現の能力 | ・文法に沿って正しく話すことができ, 聞かれたことに適切に応答することができる。 ・自分の夢について書き, それについて発表することができる。 |
| 理解の能力 | ・I want to ~を用いた文を理解することができる。 |

(2) 準備・資料

- ①ネームカード ②ワークシート ③掲示用歌詞カード

(3) 展 開

※評価 ◎援助・個への手だて

| 学習内容・活動 | 準備・資料 | 指導上の留意点 |
|--|-------------------|--|
| <p>グループごとに指定された教室で待つ。</p> <p>1 英語であいさつをする。</p> <p>2 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>グループ①② want to を使って将来の夢について書いてみよう。また、友達同士で発表しあおう。</p> <p>グループ③ want to を使った歌を聞いてみよう。</p> <p>グループ④ want to を使ってミニインタラクティブフォーラムをしよう。</p> </div> <p>3</p> | <p>①</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語であいさつをして、和やかな雰囲気を作る。 ・ 既習の want to～（～したい）の表現を使用すること、want to～を使って「聞く・話す・書く・読む」の4つの活動をすることを確認する。 ・ 例を示し、これからの活動をスムーズに進められるようにする。 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>グループ①②</p> <p>(1) 「～になりたい」という表現を、例をあげて確認する。 I want to be a soccer player.</p> <p>(2) プリントを使って様々な職業の単語を確認する。 singer teacher farmer doctor など</p> <p>(3) 自分の考えを書く。</p> <p>(4) グループ内でそれぞれの夢を発表し合う。</p> <p style="text-align: center;">I like soccer. My favorite player is Messi. I want to be a soccer player.</p> </div> | <p>②</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 職業(singer, teacher, farmer, doctor など)や動詞(play, like, have, eat など)をヒントとして与え、英文作成を促す。 ・ 机間指導をし、つまづいている生徒に指導する。 ・ 発表者に対しては良かった点をコメントし、賞賛する。 ※ 自分の夢について 3 文程度の英文を書くことができたか。(ワークシート・発表) ※ 自分の夢について書いた文を相手に伝わるように発表することができたか。(ワークシート・発表) |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>グループ③</p> <p>(1) want to を使った歌を紹介する。</p> <p style="text-align: center;">Aerosmith “I don’t want to miss a thing”</p> <p>(2) I only want to be with you を聞き、ばらばらになった歌詞を正しい順番に並び替える。</p> <p>(3) 答え合わせをする。</p> <p>(4) CD に合わせて歌う。</p> </div> | <p>②</p> <p>③</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 映画の主題歌にもなった Aerosmith の曲を聞かせ、興味を持たせる。 ・ 学習した内容が実際に使われているということを示し、want to を意識させる。 ・ 始めに読みを確認し、歌詞の内容よりも音として want to を捉えられるようにする。 ・ 最後にグループ全員で歌い、洋楽を楽しむ。 ※ want to に注目し英文を正しく聞き取ることができたか。(ワークシート・観察) |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>グループ④</p> <p>(1) ALT と 2～3名の生徒で dream について話をする。(ローテーションをして1人2回ずつ)</p> <p>(2) 聞いている人はメモを取ったり、評価したりする。</p> <p style="text-align: center;">I like music. I want to be a singer.</p> </div> | <p>②</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 使える表現 (I like to ～・I want to be ～) や動詞(play, like, have, eat など)を示し、会話を促す。 ・ つまづいている生徒には、アドバイスをする。 ・ 間違えても良いこと・難しい場合は単語でも良いことを伝え、会話しやすい雰囲気を作る。 ※ ALT やグループの生徒と定められた時間会話を継続することができたか。(発表) |
| <p>5 自己評価を記入する。</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに反省を書き、本時を振り返らせる。 |

Show and Tell

Class _____ No. _____

Name _____

Picture

今回のテーマは . . . Dream

キーワードは . . . I want to be ~ (～になりたい)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

★ Challenge ★ 友達の発表を聞いてみよう！

| Name | Dream | 分かったこと |
|------|-------|--------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

《 反省 》

◎自分の夢について英語で3文程度書くことができた。

• 大きな声で発表できた。

• 友達の発表を良く聞き理解することができた。

A B C

A B C

A B C



mini インタラクティブフォーラムをしよう!

Class _____ No. _____

Name _____

Jan 先生やグループの友達とお話してみよう。(1回3分程度)

今回のキーワードは・・・want to + ~ (～したい)

- まずはあいさつ

はじめ → Hello. My name is ~. おわり → Thank you.

- さっそく話してみよう

ヒント eat (食べる) play (スポーツをする・楽器を演奏する)

watch (見る) go (行く) study (勉強する)

聞き返すとき → Pardon?

「あなたはどうぞ？」 → How about you?

例 I want to be a teacher. How about you?

- what (なに) when (いつ) why (なぜ) who (だれ) など活用しよう。

7人グループの場合

J 1 2 → J 3 4 → J 5 6 → J 7 1

8人グループの場合

J 1 2 → J 3 4 → J 5 6 → J 7 8

9人グループの場合

J 1 2 → J 3 4 → J 5 6

→ J 7 8 → J 9 1

* J = Jan 先生

★ 友達の発表を聞いて分かったことやマネしたい表現をメモしよう！

| グループメンバー | 良かったこと・分かったこと |
|----------|---------------|
| | |
| | |
| | |
| | |

《 反省 》

◎Jan 先生やメンバーと会話を継続することができた。

- 大きな声で発表できた。
- 友達の発表を良く聞き理解することができた。

A B C
A B C
A B C



I don't know what it is that makes me love you so

I only know I never want to let you go

'Cause you've started something

Oh, can't you see?

That ever since we met

You've had a hold on me

It happens to be true

I only want to be with you

I only want to be with you

() グループ

歌に出てくる順番と同じになるように、歌詞を並び替えよう！

★ 反省 ★

Want to に注目して聞き取れた A • B • C

正しい順番に並べ替えることができた A • B • C

メンバーと協力し合えた A • B • C